

令和3年度へき地校体験実習教員養成課程3キャンパス成果交流会

日時 令和4年2月22日

令和4年2月22日(火)、本学へき地・小規模校教育研究センター主催による令和3年度へき地校体験実習教員養成課程3キャンパス成果交流会を開催しました。本交流会は、へき地校体験実習を受講し、4月から教職に就く4年生による成果報告を通して、交流を図ることを目的としています。当日は、川前へき地・小規模校教育研究センター副センター長が司会を務め、Zoomを利用したウェビナー形式で行われ、へき地・小規模校教育研究センター関係者を中心とした教職員ならびに発表学生等約30名が参加しました。

開会にあたり、玉井へき地・小規模校教育研究センター長より挨拶があった後、参加学生による成果報告を行いました。

【司会 へき地・小規模校教育研究センター川前副センター長】



【挨拶 へき地・小規模校教育研究センター玉井センター長】



【発表者一覧】

- ・札幌キャンパス 安中 詩織 (令和元年度受講)
- ・札幌キャンパス 近川 亜希
(令和元年度・3年度受講)
- ・旭川キャンパス 橋本恵里香 (令和元年度受講)
- ・旭川キャンパス 石谷はるか (令和元年度受講)
- ・釧路キャンパス 新田 恋花 (令和3年度受講)
- ・釧路キャンパス 工藤のどか
(令和元年度・2年度・3年度受講)

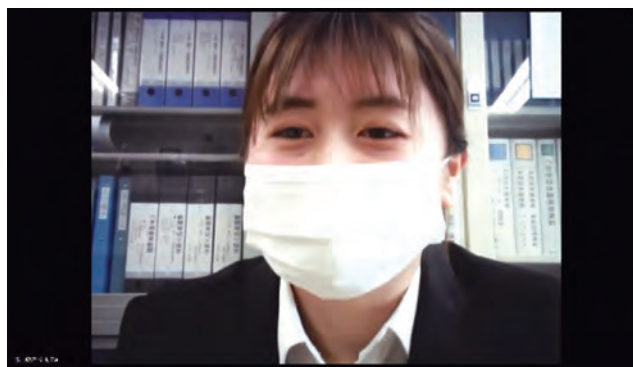
学生は各自で作成したスライドを用いて、実習参加の動機、実習校の様子、実習の体験また実習で感じた課題等の報告を行い、へき地校体験実習の成果や将来の教員としての展望等を語ってくれました。

【学生の発表スライド】

①4年生になって振り返ってみて、へき地校体験実習に参加し良かったと思うこと

- ・学校現場での経験を多く積むことができた
- ・教師と児童の濃い関係性について考えることができた
- ・様々な児童との関わりが、教師としての在り方を考えさせられた

【発表者 石谷はるか (旭川校)】



トークセッションでは、参加者が各々の実習を通して、教職意欲・教育実践力が高まったことそして実習の経験が進路選択に大きな影響を与えたことを述べていました。また、実際に赴任する学校と異なる学校種での実習を通して、経験の幅が広がるとても貴重な機会だったという感想もありました。

【トークセッションの様子（釧路校）】



参加した教員からも学生へのフィードバックや今後のへき地校体験実習への提言もあり、交流会は盛会のうちに終了しました。

【加藤へき地教育アドバイザー（札幌校）からのフィードバック】

